頑張ろう仙台
私たちの街だから
自然豊かな蒲生干潟
継続観察プロジェクト
問合：仙台市教育委員会

仙台市科学館
蒲生調査レポート　速報版
No.370
2023.9.16
〒981-0903　仙台市青葉区台原森林公園4番1号
仙台市科学館　事業係
TEL:022-276-2201　FAX:022-276-2204
http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/

マガキの付着したモクズガニ

■マガキが体の各部に付着したモクズガニ

今回の調査では，マガキが体の各部に付着したモクズガニを採集した（Fig.1）。背甲だけでなく，脚にも多く付着している（Fig.2)。

（Fig.1 モクズガニ）

（Fig.2 脚）

神奈川県立生命の星・地球博物館の佐藤武宏氏におたずねしたところ，モクズガニは早く降海して長く生きた場合，約12ヶ月脱皮せず海で活動することがある。さらにカキやフジツボなどの付着性生物の幼生は“なかまのにおい”に反応しその近くに着底する「着底誘因」という現象によって密集する。カニ類は通常は体表に付着生物が付着しないよう体表をクリーニングするが，何らかの原因でクリーニングが追いつかなかった場合，体表にびっしり付着することがあるとご教示いただいた。

また自分は気付かなかったのだが，この個体は腹節がオスとメスの中間の形状をしており（Fig.3～5)，このような現象はカニにフクロムシが寄生したことが原因として考えられるとご教示いただいた。メス化の他にも，カニの寿命を延ばし結果的に長期間脱皮せず生存するので付着生物が多くなるとのことであった。

ただしあくまでも写真からの推測であり，マガキがこれほど付着した原因を特定することはできない。個体を保存していれば，フクロムシの寄生等を確認できたと思うと残念である。佐藤武宏氏には大変丁寧なレクチャーをいただき，心より感謝申し上げます。

（Fig3. オスの腹節　2022.5.22）

（Fig.4 今回採集したモクズガニ）

（Fig.5 メスの腹節　2023.8.11）

（佐藤　賢治）